子宮頸癌 (進行・再発) 1st Line

wCDDP+RT療法

コース目

O. OmL

患者 I D: @PATIENTID @PATIENTNAME 患者氏名 :

身長(cm) 体重(kg) 体表面積(m) HEIGHTO1 Dd/HEIGHTO1 Dd **#VALUE!**

投与スケジュール: 1コース 目標コース数: 5コース

使用基準: class A 指示1: 尿量測定 毎日

指示2: 体重測定 毎日起床時

指示3: 利尿剤投与指示 以下条件でフロセミド1A iv

開始から21時(約10時間)の尿量≤800mL 治療開始より24時間までの尿量≤2000mL Day2 Dav3~終了翌日 治療継続中における24時間の尿量≤1500mL

化学療法開始直前と比べて2kg以上の体重増加があり、利尿剤未使用

注意:Day5以降も水分摂取が少ない場合や尿量が少ない場合には、輸液を考慮すること

《使用薬剤》

シスプラチン (CDDP): シスプラチン注 50mg/100mL/V、10mg/20mL/V

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
シスプラチン	40 mg/m^2	#VALUE!		1

〈〈 タイムスケジュール:開始時刻 〉〉

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日: 1月1日 (日) Dav1

> 0時00分 ① 生理食塩液 500mL

> > 2時間で点滴静注

1時15分 内服 アプレピタントカプセル 125mg 1×(1) シスプラチン開始 1 時間前頃

② 生理食塩液 50mL + アロキシ 1V + デキサート 9.9mg 2時00分

15分で点滴静注

2時15分 ③ 生理食塩液 700mL + シスプラチン 0mg

2時間で点滴静注

4時15分 ④ 生理食塩液 500mL 2時間で点滴静注

⑤ ソリタT3号 500mL×3

6時15分 6時間(2時間×3)で点滴静注

1月2日 Day2~3: (月) ~ 1月3日

(火)

起床後 内服 アプレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後

2時15分 生理食塩液 50mL + デキサート 6.6mg

15分で点滴静注

② ソリタT3号 500mL×3 2時30分

6時間(2時間×3)で点滴静注

RFFFRFNCF

Takafumi Toita, Ryo Kitagawa, Tetsutaro Hamano et al :Gynecologic Oncology 126 (2012) 211-216 Phase II study of concurrent chemoradiotherapy with high-dose-rate intracavitary brachytherapy in patients with locally advanced uterine cervical cancer: Efficacy and toxicity of a low cumulative radiation dose schedule Peter G. Rose, Shamshad Ali, Edwin Watkins, et al : J Clin Oncol25:2804-2810

Long-Term Follow-Up of a Randomized Trial Comparing Concurrent Single Agent Cisplatin, Cisplatin-Based Combination Chemotherapy, or Hydroxyurea During Pelvic Irradiation for Locally Advanced Cervical Cancer: A Gynecologic Oncology Group Study 2017年5月度化学療法プロトコール審査委員会承認:2017年5月15日